

請求の範囲

- [請求項1] ヒト由来細胞をヒトに投与する工程を含むがんを治療又は予防する方法であって、
該細胞は、外来性CD1dを発現し、該細胞表面に α -ガラクトシルセラミド (α -GalCer) を積載しており、且つ
該細胞表面に積載されている α -GalCerの1回用量がヒト体重1kg当たり1.7ng~275ngの範囲となるようにヒトに投与される、
方法。
- [請求項2] ヒト由来細胞が外来性がん抗原を発現する、請求項1に記載の方法。
- [請求項3] CD1dがヒトCD1dである、請求項1又は2に記載の方法。
- [請求項4] ヒト由来細胞がヒト胎児腎細胞293 (HEK293) 由来細胞である、請求項1~3のいずれかに記載の方法。
- [請求項5] 細胞表面に積載されている α -GalCer量が、 1×10^6 細胞当たり3.9~275ngの範囲である、請求項1~4のいずれかに記載の方法。
- [請求項6] ヒト由来細胞を含むがんの治療又は予防のための医薬組成物であって、
該細胞は、外来性CD1dを発現し、該細胞表面に α -GalCerを積載しており、且つ
該組成物は、該細胞表面に積載されている α -GalCerの1回用量がヒト体重1kg当たり1.7ng~275ngとなるようにヒトに投与される、
医薬組成物。
- [請求項7] ヒト由来細胞が外来性がん抗原を発現する、請求項6に記載の医薬組成物。
- [請求項8] CD1dがヒトCD1dである、請求項6又は7に記載の医薬組成物。

物。

- [請求項9] ヒト由来細胞がヒト胎児腎細胞293（HEK293）由来細胞である、請求項6～8のいずれかに記載の医薬組成物。
- [請求項10] 細胞表面に積載されている α -GalCer量が、 1×10^6 細胞当たり3.9～275 ngの範囲である、請求項6～9のいずれかに記載の医薬組成物。
- [請求項11] がんの治療又は予防のための医薬組成物を製造するためのヒト由来細胞の使用であって、
該細胞は、外来性CD1dを発現し、該細胞表面に α -GalCerを積載しており、且つ
該組成物は、該細胞表面に積載されている α -GalCerの1回用量がヒト体重1 kg当たり1.7 ng～275 ngの範囲となるようにヒトに投与される、
使用。
- [請求項12] ヒト由来細胞が外来性がん抗原を発現する、請求項11に記載の使用。
- [請求項13] CD1dがヒトCD1dである、請求項11又は12に記載の使用。
- [請求項14] ヒト由来細胞がヒト胎児腎細胞293（HEK293）由来細胞である、請求項11～13のいずれかに記載の使用。
- [請求項15] 細胞表面に積載されている α -GalCer量が、 1×10^6 細胞当たり3.9～275 ngの範囲である、請求項11～14のいずれかに記載の使用。
- [請求項16] がんの治療又は予防に使用するためのヒト由来細胞であって、
該細胞は、外来性CD1dを発現し、該細胞表面に α -GalCerを積載しており、且つ
該細胞は、該細胞表面に積載されている α -GalCerの1回用量がヒト体重1 kg当たり1.7 ng～275 ngの範囲となるように

ヒトに投与される、

ヒト由来細胞。

- [請求項17] ヒト由来細胞が外来性がん抗原を発現する、請求項16に記載のヒト由来細胞。
- [請求項18] CD1dがヒトCD1dである、請求項16又は17に記載のヒト由来細胞。
- [請求項19] ヒト由来細胞がヒト胎児腎細胞293（HEK293）由来細胞である、請求項16～18のいずれかに記載のヒト由来細胞。
- [請求項20] 細胞表面に積載されている α -GalCer量が、 1×10^6 個の細胞当たり3.9～275 ngの範囲である、請求項16～19のいずれかに記載のヒト由来細胞。
- [請求項21] 外来性CD1dを発現し、該細胞表面に α -GalCerを積載しているヒト由来細胞であり、該細胞表面に積載されている α -GalCerの1回用量がヒト体重1 kg当たり1.7 ng～275 ngの範囲となるようにヒトに投与される細胞を製造する方法であって、外来性CD1dを発現するヒト由来細胞を56 ng/mL～3000 ng/mLの α -GalCerを含む培養培地で培養する工程を含む、方法。
- [請求項22] 前記培養工程により得られた細胞に積載されている α -GalCer量を測定し、細胞表面に積載されている α -GalCer量が 1×10^6 個の細胞当たり3.9～275 ngの範囲である細胞を選択する工程をさらに含む、請求項21に記載の方法。